

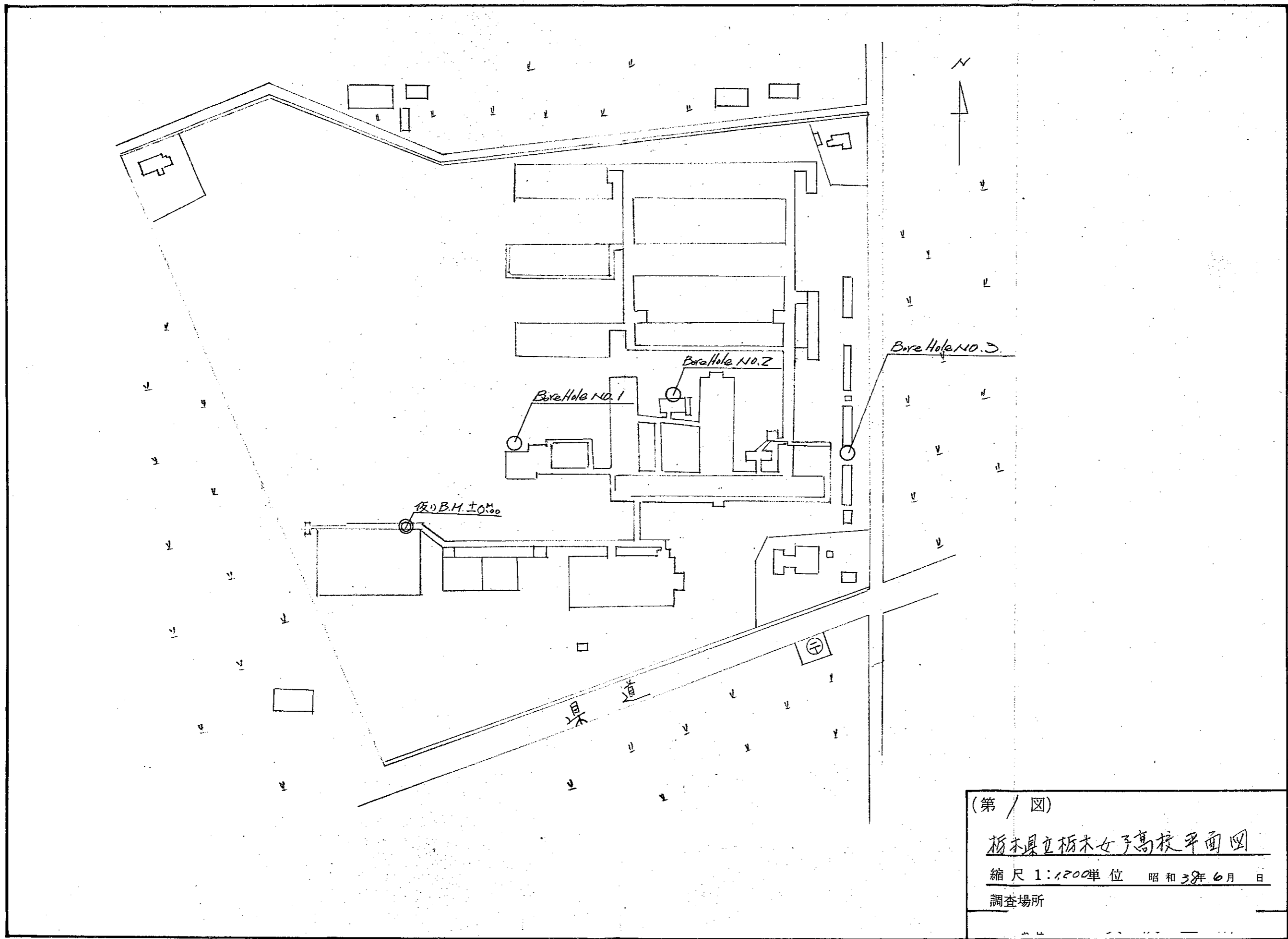
## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課



(第 / 図)  
 栃木県立栃木女子高校平面図  
 縮尺 1:1,200 単位 昭和 38 年 6 月 日  
 調査場所



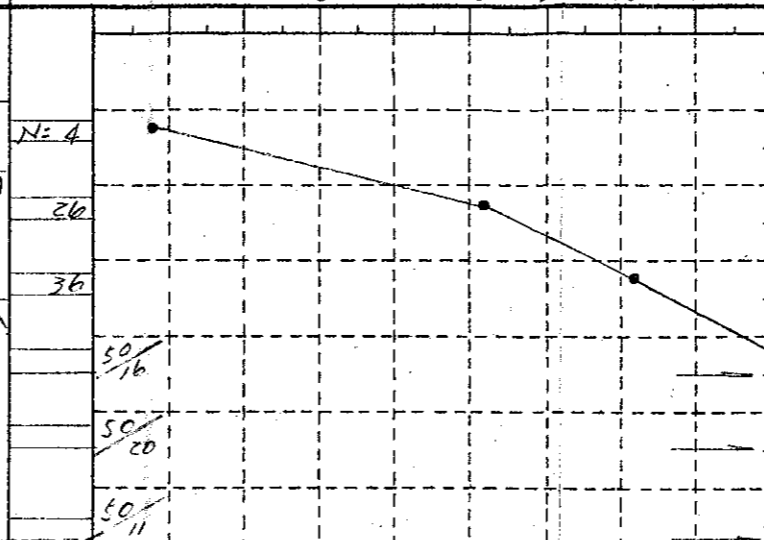
栃木県立女子高校 土質柱状断面図 (カ → 図)

調査地 調査年月日

NO. 2  
昭和 38年 7月 1日 ~ 月 日

ボーリング方法 0-99-式  
サンプリング方法 標準貫入試験  
地下水位 1.30

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (m)	土質記号	試験試料	土質型	色	緊相 硬對 密度	備考	標準打込試験 (打重回数 ~ N)													
									0	5	10	15	20	25	30	35	40					
0	0.00	-0.255																				
1	0.90	-1.355	○		長土	黒		粘性強														
2	1.80	-2.255	○		粘土	黄褐色		柔らかい														
3			○					部分的に粘土混入														
4	3.50	-3.965	○		砂質粘土	灰褐色		非常に堅い														
5			○					10%~15%砂混入														
6			○					非常に硬い														
7	6.70	-7.155	○		砂	暗褐色		崩壊基盤														
8								6.70mにて終了														
9																						
10																						
11																						
12																						
13																						
14																						
15																						
16																						
17																						
18																						
19																						
20																						



8

3

